

## 1. 平成29年産麦の生育状況について

### 【気象条件】

11月中旬～1月上旬は、気温が平年より1～3℃高く、断続的に降雨があり、降水量が122%多く、高温多雨で経過した。1月中旬～3月下旬は、気温が平年並～1℃高く、降水量が51%少なく、やや高温少雨で経過した。4月上旬～中旬は、気温が2℃高く、降水量が134%多く、4月17～18日に約100mmの降雨があり、高温多雨で経過した。4月下旬～5月上旬は、気温が1～2℃高く、降水量が44%少なく、高温少雨で経過している。

### 【播種状況】

播種は、小麦、裸麦では11月下旬～12月上旬、二条大麦では12月上旬を中心に行われた。地域別では、朝倉、飯塚農林管内では80%以上が12月上旬までに播種されたが、福岡、八幡、筑後、行橋農林管内では12月中旬とやや遅れ、一部の地域では1月上旬頃まで播種が行われ、播種期間の幅が大きくなった。

### 【生育状況】

11月中旬～下旬の断続的な降雨の影響により播種はやや遅れたが、播種から1月上旬が高温に経過し、生育は平年並に近づいた。1月中旬～3月上旬は少雨で経過し、比較的、この時期の管理作業は進んだ。麦の茎数(3月上旬)は、小麦では平年より12%程度少なく、大麦では18%程度少なく推移した。茎立期は、小麦では2月中旬～3月上旬で平年並～早く、大麦では3月上旬で平年並であった。

3月の気温は平年並に経過し、11月下旬播の出穂期は平年並～5日早く、前年より2～8日遅かった。稈長、穂長は平年並～やや長く、穂数は

平年並～やや少なかった。出穂後は高温が続いたため、成熟期は平年よりも2～5日早く、前年よりも1～3日程度遅いと予想される。

収穫は大・裸麦では5月16日頃より、小麦(シロガネコムギ)では5月27日頃より始まる見込みである。



5月12日、麦類現地検討会(シロガネコムギ)



5月12日、麦類現地検討会(はるか二条)



◆シロガネコムギ (福岡大城、5月8日撮影)



◆ニシホナミ (筑前あさくら、5月10日撮影)



◆チクゴイズミ (にじ、5月8日撮影)



◆ミナミノカオリ (柳川、5月8日撮影)





◆ちくしW2号 (ふくおか八女、5月12日撮影)



◆はるしずく (みなみ筑後、5月15日撮影)



◆ニシノホシ (福岡京築、5月11日撮影)



◆はるか二条 (北九、5月15日撮影)





◆ほうしゅん (糸島、5月17日撮影)



◆はるみやび (みい、5月11日撮影)



◆しゅんれい (むなかた、5月16日撮影)



◆イチパンボシ (筑紫、5月16日撮影)





## 2. JA全農ふくれん麦部会会議

JA全農ふくれん麦部会（部会長：石井 好人）は、平成29年4月27日（木）、部会会議を開催し、部会代表者やJA、関係者ら41名が参加しました。

冒頭のあいさつで石井部会長は「二年連続で契約数量を大幅に下回っており、何としても契約数量を達成できるように取り組んでいく」と述べ、平成28年度の活動の振り返りおよび平成29年度の活動目標等について協議を行いました。29年度の活動では、安定供給を最重要課題とし、播種前契約数量の必達に向けて、県全体で生産者分析を行い、優良生産者の生産技術の共有化等を行っていきます。また、降雨量の増加に備えた排水対策や土壌分析なども行い、収量向上に努めていくことを部会全体で確認しました。

### 【主な内容】

- ☆平成28年度麦部会活動報告および経費実績について（案）
- ☆平成29年度麦部会活動計画および予算について（案）
- ☆役員改選について（案）
- ☆平成30年産麦の収量向上に向けた重点取組



↑石井部会長あいさつ。



↑活動報告に熱心に聞き入る部会員。

## 3. JA全農ふくれん麦部会硬質麦研究会会議

JA全農ふくれん麦部会硬質麦研究会（会長：遠藤幸男）は、平成29年4月27日（水）、研究会会議を開催し、生産者やJA、関係者ら42名が参加しました。

会議は、遠藤会長の「硬質小麦は実需者が求めるタンパク値を確保することが重要で、穂揃い期追肥は確実に実施をお願いする」とのあいさつから始まり、硬質麦研究会の重点取組として、品質向上に向けた取組みと販売促進活動について協議を行いました。実需者から求められるタンパク値を確実に達成するために、生産者分析の結果を活用し、高位平準化を図っていくことを確認しました。

また、29年産麦の生育状況および研究会独自で行う硬質麦のPR活動について報告があり、活発な意見交換が行われました。

### 【主な内容】

- ☆平成28年度硬質麦研究会活動報告について
- ☆平成29年度硬質麦研究会活動計画について
- ☆役員改選について（案）
- ☆ちくしW2号（ラー麦）のPR活動について  
~~~~~

## 4. JA糸島麦部会「麦部会全体総会」

JA糸島麦部会（部会長：友池庄三）は、平成29年4月12日（水）、麦部会全体総会を開催し、実需者や生産者、JA職員、関係機関等約70名が参加しました。

総会は、友池部会長の「播種期に雨が多く、播種が遅れたが、年明け以降好天に恵まれ生育は持ち直している。良品質の麦が収穫できるよう今年度も活動を頑張っていくので、ご協力をお願いします」とのあいさつから始まり、事業計画等について活発な協議が行われました。

総会后、東福製粉㈱から糸島産強力粉を使用した生パスタについての説明及び試食があり、生産者はタンパク質含有率の重要性を、自分の舌で再確認していました。また、JA福岡中央会の小野部長から米政策改革や経営所得安定対策等の変更と課題について説明があり、参加者は真剣に話に聞き入っていました。

### 【主な内容】

- ☆議事…活動報告・計画
- ☆28年産小麦の分析結果と2次加工品の紹介  
東福製粉㈱ 業務部 主任 井上氏

## ☆農業政策の展望について

JA福岡中央会 農業対策部 部長 小野氏



↑ JA糸島麦部会、友池部会長あいさつ。

## 5. JA筑紫麦出荷者部会「総会」

JA筑紫麦出荷者部会（部会長：鬼木正巳）は、平成29年4月24日（月）、総会を開催し、生産者やJA職員、関係機関約50名が参加しました。

久原副部会長からは「29年産は11月～12月の降雨により播種は年明けまで実施されたが、1月～2月は好天に恵まれ麦踏み・土入れ等の中間管理作業をしっかりと行うことができた。今後も排水対策等に取り組み、天候に左右されない麦作りを目指す」とのあいさつがあり、総会では事業計画等について協議が行われました。

総会の中で28年度麦作共励会表彰が行われ、品質及び収量が優れていた生産者に対して表彰状が贈呈され、部会全体で高品質な麦を作ろうという熱意がこもった総会となりました。

### 【主な内容】

☆議事…活動報告・計画

☆平成28年度麦作共励会表彰



↑ 共励会で受賞された生産者の皆さま

## 6. JA北九麦作部会「総会」

JA北九麦作部会（部会長：添田明）は平成29年4月26日（水）、総会を開催し、生産者、JA職員、関係機関等約60名が参加しました。

総会は、添田部会長の「間もなく収穫を迎えるが、事故等には十分気を付けて作業に取り組んでいただきたい」とのあいさつから始まり、事業計画等について活発な協議が行われました。また、役員改選があり、木原保則氏が新部会長として選任されました。

総会のなかで28年産麦作部会表彰が行われ、小麦および大麦でそれぞれ1名が受賞され、部会全体で収量・品質向上に向けて取り組んでいくことを確認しました。

### 【主な内容】

☆議事…活動報告・計画

☆28年産麦作部会表彰

☆麦類情勢について JA全農ふくれん 農産課

## 7. 福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会 「29年産麦類現地検討会」

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会（会長：木下清登 全農ふくれん）は、平成29年5月12日（金）、29年産麦類現地検討会を開催し、実需者や生産者、関係機関、JA職員ら約80名が参加しました。

同検討会は、望まれる「福岡の麦」づくり運動の一環で、毎年実施しているもので、29年産麦類の生育状況や品質等について、小麦班・大麦班の2班に分かれ、現地ほ場に出向いて確認を行いました。小麦班では、JAにじ、JAみい、JA糸島の3JAにて、シロガネコムギ、チクゴイズミ、ミナミノカオリ、ちくしW2号の4品種を視察。大麦班では、JA筑紫、JA筑前あさくら、JAふくおか八女の3JAにて、イチバンボシ、ほうしゅん、はるか二条、はるしずくの4品種を視察しました。

現地視察後は、福岡ガーデンパレスにて報告会が開かれ、福岡県農林水産部経営技術支援課の専門技術指導員より、視察圃場の生育状況や品質、収穫時期等の報告がありました。また、29年産麦類の播種時期からの気象条件や生育状況についても報告が行われました。





↑麦類現地検討会。(チクゴイズミ、にじ)



↑麦類現地検討会。(ミナミノカオリ、にじ)



↑麦類現地検討会。(はるか二条、筑前あさくら)



↑麦類現地検討会。(イチバンボシ、筑紫)

## 8. JA全農ふくれん 農産課 人事異動及び業務分掌について

平成29年度4月より、人事異動及び担当異動により、農産課の業務分掌が一部変更となっておりますので、お知らせいたします。

◆課長：水上 貴史

◆山下 典子  
・民間流通麦総括  
・ビール大麦担当

◆渡邊 匡史  
・民間流通麦担当  
・ビール大麦及び麦部会担当補佐

◆西原 芳弘  
・民間流通麦受渡等担当  
・麦部会(硬質麦研究会含む)担当

◆清原 正光(新人・5月より赴任)  
・麦及び大豆担当補佐



全国農業協同組合連合会 福岡県本部

☆FUKUOKA no MUGI 編集局☆

MIZUKAMI TAKASHI

YAMASHITA NORIKO

WATANABE MASAHUMI

NISHIHARA YOSHIHIRO

KIYOHARA MASAMITSU

## 新任あいさつ 清原 正光

はじめまして。この度、5月より農産課に配属になりました新人の清原正光です。

私は小さい頃、祖父が生産していた小麦の収穫の手伝いなど、小麦に触れる機会が多々あり、その経験から農産課を希望していました。また、麦及び大豆担当補佐という役割を務めさせていただくことになりました。現在の私は右も左もわからない状態で、無知の私ではありますが、必死に勉強させていただいております。少しでも早く農産課の歯車になれるように精進いたします。

私はこれから、日本のみならず外国からも注目されているこの福岡で農業の発展に貢献するとともに生産者の立場になり、生産者の意見を大いに反映できる職員を目指し、頑張ります。

最後になりましたが、みなさまとはこれから一緒にさせていただくことが多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



**日本一の麦をつくろう!**

- 安定供給に向けて作付面積を拡大しよう!**  
関係機関と連携して作付面積を拡大し、福岡県産麦の供給不足の解消に取り組もう。
- 生産技術の向上により産地・地域間の品質格差を解消しよう!**  
産地間の品質格差の解消による平準化に向け、実需者と一体となった産地づくりに取り組もう。
- 実需者や消費者と一体となり地産地消の取り組みを拡大しよう!**  
JAめん・キリンビール・福岡県産焼酎・県産麦を使用した商品の消費拡大に取り組もう。

JA全農ふくれん麦部会(生産者・JA・JA全農ふくれん)  
Since.2005.6.28.

HPにも掲載!

JA全農ふくれん

検索

